

オオフサモ

オオハンゴンソウ

ウシガエル

# 木曽三川の特定外来種マップ

オオキンケイギク

ポタンウキクサ

カダヤシ

国土交通省中部地方整備局

木曽川上流河川事務所

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

木曽川下流河川事務所

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

ブルーギル

オオカワヂシャ

アレチウリ

平成20年3月

# 特定外来種マップの見かた

## ○図面の範囲

河川名、区間、区間の目印となる構造物等を示しています。  
(木曾川水系河川整備計画附图 環境 がベース図)

## ○外来生物リスト

図面の範囲で近年(平成13年度～平成17年度)の水辺の国勢調査定点調査で見つかった外来生物のリストです。  
色は、植物:緑、底生動物:茶、魚介類:青、両生類・ほ乳類・は虫類:赤、昆虫類:紫、鳥類:白というように分けています。  
特定外来生物、要注意外来生物(検討・不足)、特定外来生物でも要注意外来生物でもない生物の別を示しており、特定外来生物についてはハッチングしています。  
※植物については数が多すぎるので特定外来生物と要注意外来生物のみの記載。

## ○外来生物法

**特定外来生物** : 海外起源の外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を及ぼすもの。又は及ぼすおそれがあるものの中から指定。  
**要注意外来生物** : 外来生物法の規制対象となる特定外来生物とは異なり、外来生物法に基づく飼養等の規制が課されるものではないが、これらの外来生物が生態系に悪影響を及ぼしうることから、利用に関わる個人や事業者等に対し、適切な取り扱いについて理解と協力が必要。  
(検討) 被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物  
(総合) 別途総合的な取り組みを進める外来生物(緑化等を行っているようなもの)  
(不足) 被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

環境 (木曾川: 42.4k ~ 58.8k)  
新木曾川橋 ~ 犬山頭首工

魚介類		
種名	特定	要注意
オオクチバス	●	●
フナ	●	●
コイ	●	●
アサギ	●	●
カマド	●	●
アサギ	●	●

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	特定	要注意
クサビ	●	●
ヌートリア	●	●

鳥類		
種名	特定	要注意
コシヤク	●	●
ノド	●	●

底生動物		
種名	特定	要注意
サカマキ	●	●
アサギ	●	●

植物 (北派川)			植物 (南派川)		
種名	特定	要注意	種名	特定	要注意
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
コシヤク	●	●	コシヤク	●	●
ノド	●	●	ノド	●	●
クサビ	●	●	クサビ	●	●
ヌートリア	●	●	ヌートリア	●	●
オオクチバス	●	●	オオクチバス	●	●
フナ	●	●	フナ	●	●
コイ	●	●	コイ	●	●
アサギ	●	●	アサギ	●	●
カマド	●	●	カマド		

# 木曾三川特定外来種マップ

◆図は下記の対象区間において、記載の基準及びデータを用い作成しています。

## <対象範囲>

大臣直轄管理区間（木曾川：0.0k～70.4k、長良川：-0.6k～56.2k、伊自良川：0.0k～5.6k、揖斐川-0.6k～61.0k、杭瀬川0.0k～8.8k、牧田川：0.0k～15.8k、根尾川0.0k～12.0k、多度川0.0k～2.0k、肱江川0.0～2.0k）

## <外来生物の抽出>

※外来生物法（特定外来生物による生態系等に係わる被害の防止に関する法律）

○特定（特定外来生物）

海外起源の外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれのあるものの中から指定している。

○要注意（要注意外来生物）

外来生物法の規制対象となる特定外来生物や未判定外来生物と異なり、外来生物法に基づく飼養等の規制が課せられるものではないが、これら外来生物が生態系に悪影響を及ぼしうることから、利用に関わる個人や事業者等に対し、適切な取り扱いについて理解と協力が必要。

・（検討）

被害に係わる一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物。

・（総合）

別途総合的な取組みを進める外来生物（緑化植物）

・（不足）

被害に係わる知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物。

・（注意）

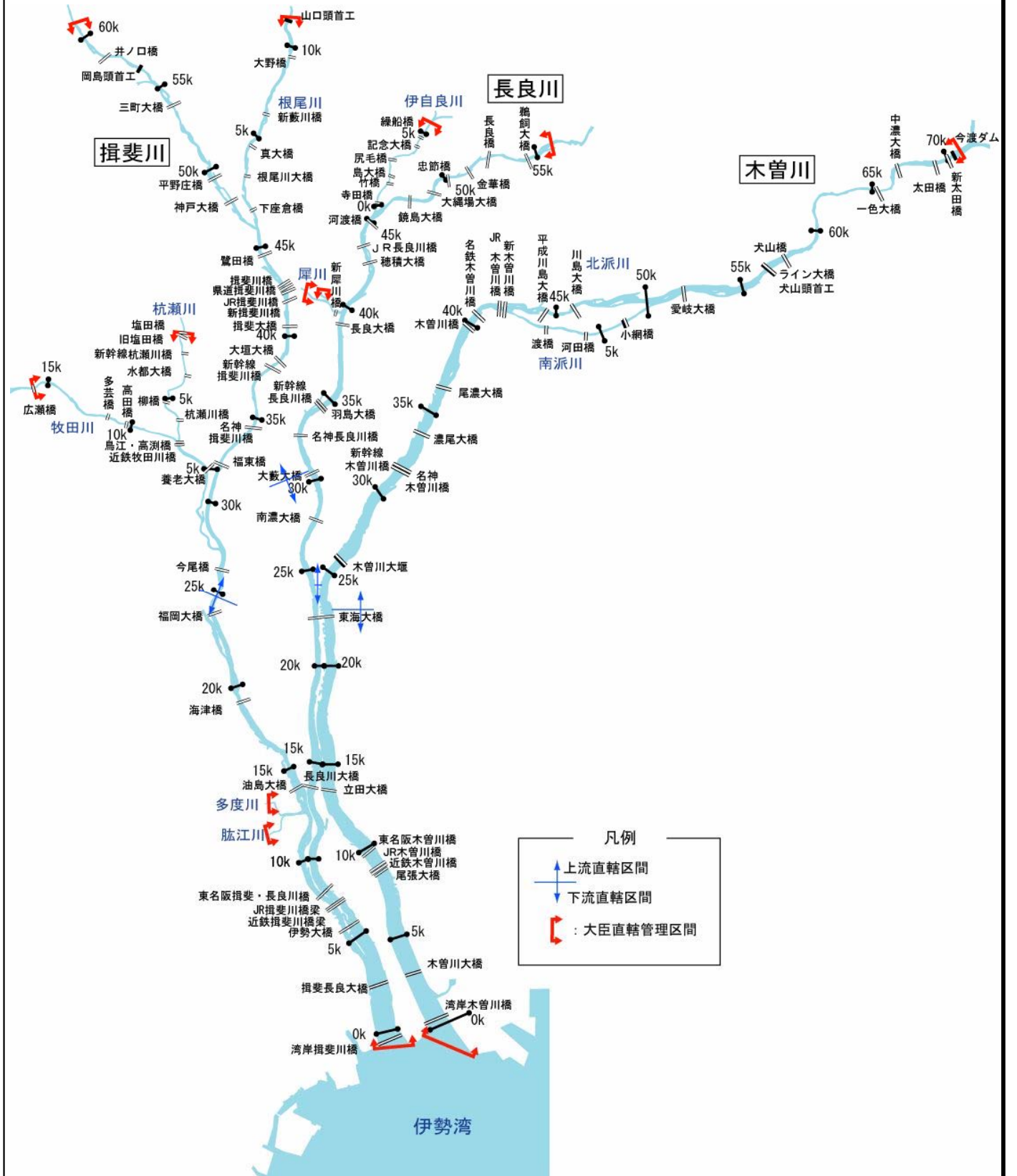
他法令による規制があることから、外来生物法に基づく特定外来生物や未判定外来生物の選定対象とならないが、特に利用に当たっての注意喚起が必要な外来生物。

※外来生物法の指定以外の外来種は「外来種ハンドブック」（日本生態系学会、2002）を基に抽出

## <使用データ>

※データは以下の年度の河川水辺の国勢調査結果を記載しています。なお、河川水辺の国勢調査の各調査は、5カ年で各調査が一巡するようなローテーションで実施しています。

- |              |        |
|--------------|--------|
| ・植物          | 平成14年度 |
| ・魚介類         | 平成16年度 |
| ・底生動物        | 平成16年度 |
| ・昆虫類         | 平成13年度 |
| ・両生類・爬虫類・哺乳類 | 平成15年度 |
| ・鳥類          | 平成17年度 |



対象範囲

# 木曾三川で確認されている特定外来種

## カダヤシ (カダヤシ科)

全長は雄で3cm、雌で5cmほど。メダカに似るが、体をもっと青っぽく尾鰭が丸い。水田と用水路のほか、平地の池沼・湖、河川下流で流れが緩やかな場所に生息する。

木曾三川では主に下流域で確認されている。



写真 1)

## ブルーギル (サンフィッシュ科)

全長25cm、生後約1年目までの幼魚では体形がやや細く、体側には7~10本の暗色横帯がある。湖沼やため池、堀、公園の池などに生息し、湖では主に沿岸帯の水生植物帯に、河川でも主に流れの緩やかな水草帯に生息する。木曾三川では、ほぼ全域で確認されている。



写真 2)

## オオクチバス (サンフィッシュ科)

全長30~50cm。上あごの後端が眼の後縁の直下よりも後方に達する。体側から背にかけて不規則な暗斑がある。湖沼やため池、河川の中下流域に生息する。木曾三川ではほぼ全域で確認があり、イタセンパラ等の在来の小魚の補食が懸念されている。



## カワヒバリガイ (イガイ科)

殻長2~3cmの淡水棲のイガイ科の二枚貝。足糸という繊維状物質を分泌して付着基盤に固着する。わが国の代表的な定着場所として、木曾三川下流域の感潮域に確認があり、分布が広がる傾向にある。



写真 3)

## アレチウリ (ウリ科)

ウリ科の一年生草本で、生育速度が非常に速い。つる性植物で、長さ数~十数mになる。果実に鋭い棘を密生する。

開花期は8~10月。木曾三川の上流域を中心にほぼ全域で確認されている。



## オオフサモ (アリノトウグサ科)

アリノトウグサ科の抽水性の多年草で、水面からの高さは0.2~0.3m。耐寒性があり、湖沼、河川、池、水路、一部の休耕田に生育する。浅水中に群生する。開花期は6月頃。木曾三川では、下流域のワンドや支川等緩流域で確認されている。それらの地点においては特に留意する必要がある。



写真 4)

## オオハンゴンソウ (キク科)

キク科の多年生草本で、高さは0.5~3m程度にまでなる。中部地方以北の寒冷な土地に分布する。路傍、荒地、畑地、湿原、河川敷などに生育する。肥沃で湿った、ときに湧水のあるところに生育する。開花期は7~10月。



写真 5)

## オオキンケイギク (キク科)

キク科の多年生草本で、高さは0.3~0.7m程度である。温帯に分布する。路傍、河川敷、線路際、海岸などに生育する。開花期は5~7月。木曾三川では、中流域で広く分布し、特に木曾川国営木曾三川公園のかさだ広場周辺では大群落を形成しており、駆除対策を実施している。



## オオカワヂシャ (ゴマノハグサ科)

ゴマノハグサ科の一年~多年生草本で、高さは0.3~1m。温帯~熱帯に分布し、湖、沼、河川の岸辺、水田、湿地に生育する。開花期は4~9月。木曾三川では長良川のみで確認されている。

木曾三川の水際の湿地でカワヂシャが確認されていることから、これらへの影響が危惧される。



写真 6)

## ボタンウキクサ (サトイモ科)

サトイモ科の浮遊性の常緑多年草で、高さは10cm程度である。池沼、河川、水田、水路などに生育する。開花期は5~10月。長良川の1箇所平成9年度の調査で確認されたのみである。



写真 7)

## ウシガエル (アカガエル科)

大型で極めて捕食性が強く、口に入る大きさであれば、ほとんどの動物が餌となる。日本のみならずアメリカ合衆国でも最大のカエルで、頭胴長183mmに達する。貪欲な捕食者で、昆虫やザリガニの他、小型の哺乳類や鳥類、爬虫類、魚類までも捕食する。木曾三川では、ほぼ全域で確認される。



写真 8)

## ヌートリア (ヌートリア科)

頭胴長50~70cm、尾長35~50cm、体重6~9kg程度。体つきはドブネズミなどに似るが、耳が小さく、後ろ足には水かきがある。半水性で、池沼や流れの弱い河川の岸辺の土手などに巣穴を掘り、木曾三川では、ほぼ全域で確認され、ヨシ原等を中心に巣穴を作り繁殖している。



## アライグマ (アライグマ科)

体重4~10kg、頭胴長41~60cm、尾長20~41cm。白色の顔に黒色のマスクを着けたような外見で4~7の輪模様を尾に持つ。水辺近くの森に生息し、夜行性で昼間は他の動物が掘った巣穴、木の洞、時には農家の納屋等で休む。木曾川、長良川中心に全域で確認されている。



○写真提供 ー写真の無断転載・複製をお断りしますー

- ・(財)九州環境管理協会: 1)
- ・(株)建設環境研究所: 2)、5)、8)
- ・国際航業(株): 3)
- ・(財)リバーフロント整備センター: 4)、6)、7)

○特定外来生物とは、海外起源の外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されます。

参考: 環境省 自然環境局 外来生物法HP <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>